

<対策のポイント>

開発途上国において、農村部の所得向上と本邦技術を活用したフードバリューチェーン構築のため、総合的な農業農村開発の計画を策定します。

<政策目標>

本事業実施後5年間に採択される農業農村開発分野のプロジェクトにおいて、本事業の成果が活用される（2件以上）

<事業の内容>

これまで、開発途上国に対する農業農村開発に関する協力は、農産物の生産量増大及び生産性向上といったフードバリューチェーン（FVC）の上流部である生産部門に重きをおいて実施してきました。今後は流通・加工部門も組み合わせた開発を行い、農業者の更なる所得向上を図る必要があるため、下記の調査を行います。

1. フードバリューチェーンの構築状況に係る情報収集

アフリカ及びアジア地域において、かんがい施設及び農地の整備状況、農産物の集出荷施設・加工施設・地産地消を推進するための地元農家の直販所、国や地域をまたぐ回廊を中心とした流通網、FVCへの資金協力及び民間投資、水資源及び気候変動の影響等に関し情報収集を行います。

2. 総合的な農業農村開発の計画の策定

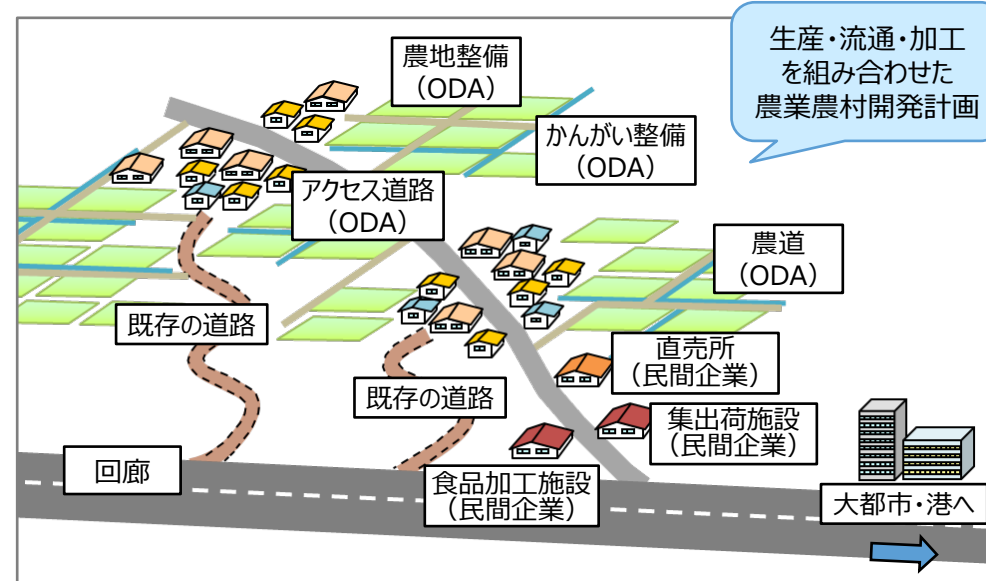
収集した情報を基に対象地域を選定し、生産部門と流通・加工部門を組み合わせた農業農村開発の課題整理、FVC構築のためのハード・ソフトを組み合わせた総合的な農業農村開発計画の策定を行います。また、我が国民間企業の海外進出を図るため、我が国の優れたインフラ整備技術の活用についても検討を行います。

〔事業実施期間：平成28年度～平成31年度〕

<事業の流れ>



<事業イメージ>



期待される効果

- 開発途上国の農業農村の振興を通じた経済発展・所得向上 及び FVCの構築を通じた食料安全保障の確保に貢献します。
- 我が国民間企業の海外展開の促進に寄与します。